

丹波市
地域おこし
協力隊

地域おこし協力隊の活動を報告します

丹波布のこれからを共に考える
にしおますみ
西尾 真澄さん vol.25

経歴：札幌市出身。大学卒業後、自然と関わりの深い丹波布に出会い、地域おこし協力隊として丹波布を生かしたまちづくりに取り組む。任期：29年9月～



こんにちは。昨年9月から地域おこし協力隊として丹波布を生かしたまちづくりに取り組む西尾真澄です。

これまで、丹波布の歴史と史料をまとめた小冊子の発行や、丹波布技術保存会主催の記念事業の開催に携わってきました。

今は、丹波布の文化財的価値を高めるため、他の織物産地の視察や、伝統工芸の専門家からの助言をもとに丹波布の良さを改めて学び直し、これからの可能性・方向性について、丹波布技術保存会をはじめ関係者の皆さんと共に検討を重ねているところです。

また、丹波布の歴史をより深く紐解いていくために、丹波布の生産が盛んだった江戸末期～昭和の初め頃の青垣周辺の村の様子も調

べています。機織り道具・佐治商人の流通・綿作りなど、昔の様子をご存知の方がおられたら、どこにでも伺いますので、ぜひお話をお聞かせください。私の簡単な活動報告を丹波布伝承館に設置しています。ご覧いただき、ぜひお気軽に声をおかけください。



丹波布技術保存会の会議に参加する西尾隊員（中央）

そんな時、悲観的に考えず、何

私なりの解釈はこうです。年
の暮れに一年を振り返った時
「どもかくもあなたまかせの年
の暮れ」（小林一茶）

單に他人任せにして、流れ
てきた訳ではなく、自分なりに
もがいてきました。それでも人
は思うようにならないし、悲
しみ・悩みは尽きることがあり
ません。一生懸命努力したから
と言つて必ず報われるとは限り
ませんし、不公平だと思うこと
もあります。

市長コラム
丹波語りあなたまかせの
年の暮れ

かに頼り、誰かに甘え、身を委ねること・支えてもらうことは決して逃げた事にはなりません。人はか弱く一人では生きていけないのですし、先の見えにくい不透明な世の中だからこそ、支えられ、また誰かを支えながら、次の世代に何かを伝えていかねばならないと思います。

俳人・小林一茶は、その生き立ちから晩年まで、実に過酷な人生を送っています。しかし、それを風刺・洒脱な作風に置き換えてきたように思えます。年未になると必ず不思議と思いつく名句です。

市政の運営にもさまざまな課題がありますが、多くの方々に支えられていることを改めて感謝し、手と手を取り合って良い市になるよう努力していきたいと思います。

市長
市長の協議に民間の意見を取り入れてはどうか
柏原地域 土谷正敬さん

地域に若い人が来てくれるよう、魅力的な仕事を創る必要があります。そのための政策を考えるため、政策を定め、退職された有能な人物に意見を聴くようにしてはどうか。市長の発展させることを发展させることを何かしないでほしいと思います。



笑顔で話す岡田さん

前回の100円笑店街を織田まつり・丹波ルシェと合同で実施したこと、市と地元につながりができ、運営の面でも参考になることが多いありました。さらに距離を縮めるため、次の100円笑店街で市がブースを出せば、街の活性化に向けたお互いが協力し合える関係になれることではないでしょうか。

市長
観光は、1000人の観光客に来てもらえる方が、その土地の魅力が高めのだとよく言われます。100円笑店街はリピーターが多いということなので、理

野良猫などの保護活動を行っており、野良猫が子猫を生まないが増えすぎて、保護では追いつかなくなっています。そのため、野良猫が子猫を生まないが助成金のルールも難しく、利用者がいないのが現状です。飼い方のマナーをもつと飼育し、正しい知識を持つて飼育管理することで、困っている人が減るのではないかと想っています。

市長
「地域猫の保護」という主旨を実現するには、自治会単位など広く活動する

市長
新病院での実習や、国際交流のまちづくりなどの試みを行えば、地域活性化にもつながると思います。また、国際交流の一環で、外国の高校生と一緒にまちづくりに取り組むことで、市に良い循環を生み出しています。地元から出た生徒が市に戻ってきて力を発揮することができるようになります。

市民の声
まごころ市長室レポート

市政に関するご意見を、市長が直接お聴きしました。主な議題を紹介します。

開催日：11月26日（月）
場所：柏原住民センター



職員の対応については、まごころを持って対応することを市長訓示で伝えたいと思います。

の走る春日地域は、物流・観光の拠点として地の利があると思っています。遊び心を持っているのがすごいと思います。ぜひ頑張ってください。

想的な形になつてきていると思います。市の出店も検討し、柏原の人たちと一緒にまちづくりの話をしていきたいですね。

必要なため、どうしても基準が厳しくなってしまう部分があります。ただ、説明不足もあるため、啓発に努めるとともに担当課とも今後の対応を検討したいと思います。

柏原高校の今後について
校長 井上千早彦さん

大路地区の活性化をめざして、登山家を呼んで

春日地域の山をPRしたり、登山道の整備をするなどの活動を行っています。

環境・施設・住民のバランスの取れた町づくりを行い、全国に発信したいと考えています。その中で、市には「おばあちゃんの里」があるので子どもたちが遊べるオートキャンプ場などを整備した「おじいちゃんの郷」を作つたら、人が春日地域・丹波市に来るきっかけになるのではないかと考えています。

市長
舞鶴若狭自動車道と北近畿豊岡自動車道

豊嶋のぞみさん

保護猫活動に対する支援を

柏原地域 足立真紀さん

100円笑店街の運営について
柏原地域 岩間想治さん

市長
舞鶴若狭自動車道と北近畿豊岡自動車道

豊嶋のぞみさん

熱意あふれる豊嶋さん